

【参考様式－５】個別施設計画（橋梁）

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
大谷橋	昭和62年度	山江村		広域農道 球磨地区	球磨郡山江村	

道路橋示方書	昭和55年度版	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	緊急輸送路指定
--------	---------	------------	-----	------	---------

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	57m(27.725m)		幅員(車道幅員)	8.7m(7.5m)		
	施設の構造	上部工型式	PCT桁					
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無		
				有		有		
		橋台工型式	逆T型橋台		基礎形式	直接基礎		
	橋脚工型式	壁式橋脚		海岸からの距離	29km			
計画策定目的	広域農道山江地区によって整備され、山江村が管理している大谷橋は、30年余り経過している。大谷橋は、昭和55年以前の道路橋示方書に準拠し設計されたものであり、現在の耐震基準を満たしていないため、耐震化対策が必要である。また、一部損傷が見られることから、詳細点検実施し点検結果に応じて長寿命化計画を策定する。							
調査結果概要	現地調査	本橋梁は建設後30年経過しているが、大きな損傷も確認されなかったことから、比較的健全度高い橋梁であると考えられる。排水施設の土砂詰りが確認されており、維持管理を行う必要がある。						
	詳細調査(点検)	床版のひび割れ、防護柵の腐食・変形、路面舗装の凹凸、排水施設の土砂詰りが確認されている。						
	劣化原因(推定)						判定区分	Ⅱ
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ①床版のひび割れ箇所には、エポキシ樹脂等の注入工を施工。 ②舗装路面の凹凸については舗装打替工を施工。 ③防護柵の腐食・変形については塗替塗装工を施工。 ④排水施設については、通常維持管理業務で対応。						
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ①から③については、広域農道の改良時期等も考慮の上、計画的に対策することが望ましい。 ④については早急に対応し、維持管理を行う必要がある。						
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 床版ひび割れ注入工 30千円 塗替塗装工 700千円 舗装打替工 3,000千円						
管理方法	管理方法	定期的に点検および維持工事を適切に行うことで予防保全的に管理していくことが望ましい。						

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期		定期点検					定期点検	床版ひび割れ注入工 ↓ 塗装塗替		

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

【参考様式－5】個別施設計画（橋梁）

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川（道路）名	造成事業	施設の場所	集落コード
暁橋	昭和62年度	山江村	山田川	農免農道 山田・山田Ⅱ期地区	球磨郡山江村	

道路橋示方書	昭和53年度版	橋の等級（設計荷重）	2等橋	特記事項	緊急輸送路指定
--------	---------	------------	-----	------	---------

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	58.2m(28.24m)		幅員(車道幅員)	7.7m(6.5m)		
	施設の構造	上部工型式	PCT桁					
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無		
				有		無		
		橋台工型式	逆T型橋台		基礎形式	ケーソン基礎		
	橋脚工型式	壁式橋脚		海岸からの距離	28km			
計画策定目的	農免農道山田地区及び山田Ⅱ期地区によって整備され、山江村が管理している暁橋は、30年余り経過している。大谷橋は、昭和53年以前の道路橋示方書に準拠し設計されたものであり、現在の耐震基準を満たしていないため、耐震化対策が必要である。また、一部損傷が見られることから、詳細点検実施し点検結果に応じて長寿命化計画を策定する。							
調査結果概要	現地調査	本橋梁は建設後30年経過しているが、大きな損傷も確認されなかったことから、比較的健全度高い橋梁であると考えられる。						
	詳細調査(点検)	主桁の異物(土)混入、床版のひび割れ、防護柵の腐食、路面舗装の凹凸、路面伸縮装置の凹凸が確認されている。						
							判定区分	Ⅱ
長寿命化対策概要	劣化原因(推定)	主桁の異物(土)は施工時の混入、床版ひび割れは施工不良によるものと思われる。 防護柵の腐食は、高欄の亜鉛メッキの経年劣化により錆が発生したものと思われる。 舗装路面の凹凸及び路面伸縮装置(ゴム)は経年劣化によるものと思われる。						
	対策工法(案)	【老朽化対策】 主桁については、ポリマーセメントモルタルによる断面修復工を施工。 床版のひび割れ箇所には、エポキシ樹脂等の注入工を施工。 防護柵の腐食については塗替塗装工を施工。 舗装の凹凸については舗装打替工を施工。 伸縮装置については取替工を施工。						
	対策時期(案)	【老朽化対策】 農道の改良時期等も考慮の上、計画的に対策することが望ましい。						
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 断面修復工 5千円 床版ひび割れ注入工 5千円 塗替塗装工 700千円 舗装打替工 2,600千円 伸縮装置取替工 3,900千円						
管理方法	管理方法	定期的に点検および維持工事を適切に行うことで予防保全的に管理していくことが望ましい。						

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
対策費用（長寿命化）（百万円）										
対策費用（更新）（百万円）										
対策の内容・時期		定期点検					定期点検	断面修復工 床版ひび割れ注入工 塗替塗装工		

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。
